

ご参加の皆様へ（開始まで少々お待ちください）

- お名前設定のお願い

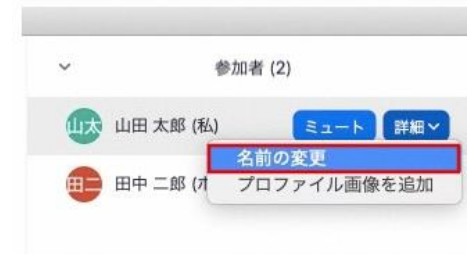
- 例) 通し番号が0番で、当日の呼び名（**本名不可**）を「チーバくん」とする場合は、

Zoom表示名を「**0_チーバくん**」と設定してください。



- お名前変更方法

- Zoom下部の「参加者」ボタンを押していただく
- ご自身の名前の右側にある「詳細」ボタンを押していただく
- 「名前の変更」ボタンを押していただく
- 新しい名前を入力し、「名前の変更」ボタンを押して完了



第3回 マクハリ ミライトーク

～将来の幕張新都心のまちづくりを考えるワークショップ～

2022年2月20日(日)

10:00 - 12:00

主催：千葉市

(進行：三菱総合研究所)



開会挨拶（千葉市より）

本ワークショップのタイムスケジュール

開始時刻	終了時刻	時間	内容
10:00	10:05	5分	【全体】 開始、千葉市挨拶
10:05	10:15	10分	【全体】 幕張新都心まちづくり将来構想の説明（千葉市）
10:15	10:30	15分	【全体】 実施背景、前回ワークショップの振り返り、本ワークショップの進め方の説明（事務局）
10:30	10:45	15分	【グループ】 メンバー間自己紹介
10:45	11:45	60分	【グループ】 議論：「よりよい幕張新都心」をつくっていくために、あなたができること (適宜グループ内で5分程度休憩)
11:45	12:00	15分	【全体】 議論結果の共有・クロージング

幕張新都心まちづくり将来構想の説明 (幕張新都心まちづくり将来構想原案 一部抜粋)

幕張新都心ってどんなまち？

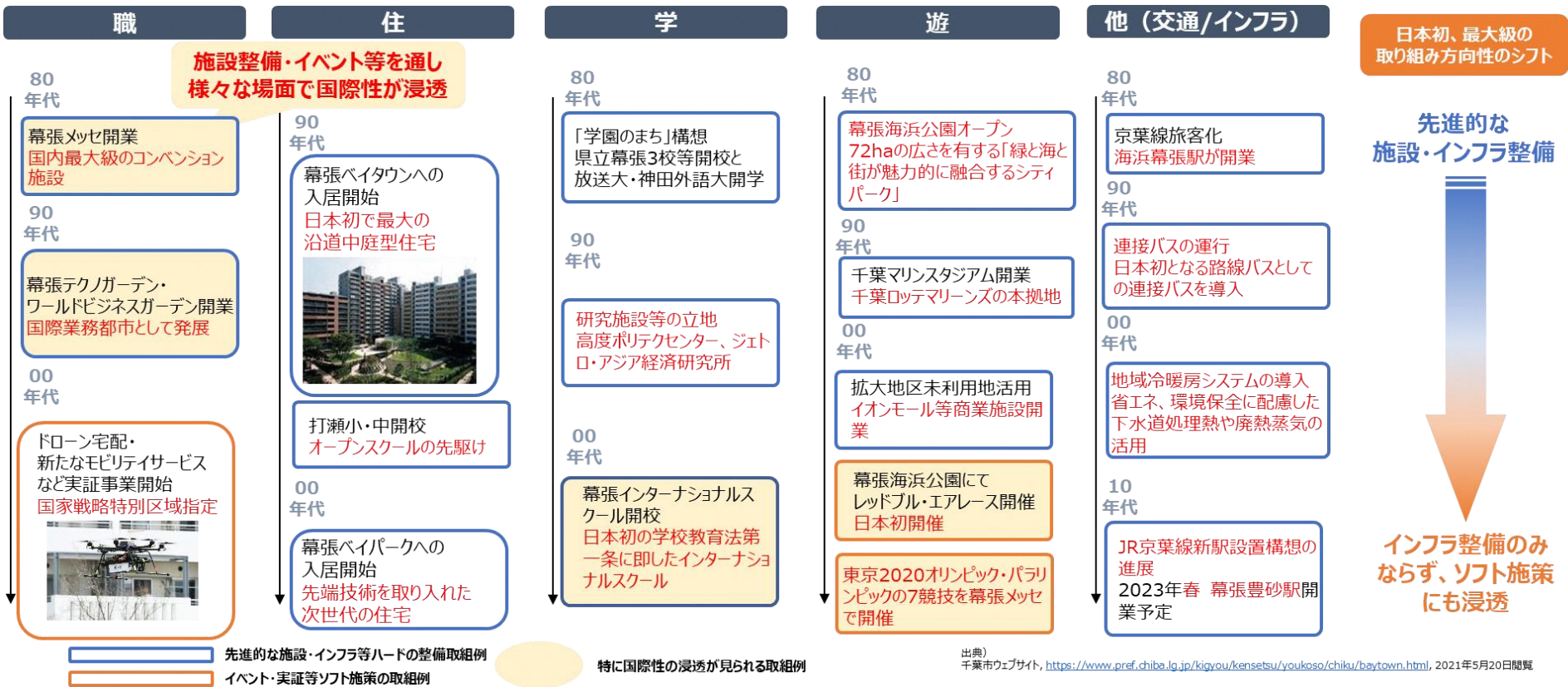
- 幕張新都心は、これまでの30年間で様々な取組を取り入れながら、
「職・住・学・遊」の複合機能を備えた未来型の国際業務都市として発展してきました。

職：国際的な業務、本社機能、研究開発機能 **住**：新しい時代の快適な居住空間
学：21世紀に対応する多様な人材育成の場 **遊**：賑わい・交流の場、憩いとやすらぎの空間



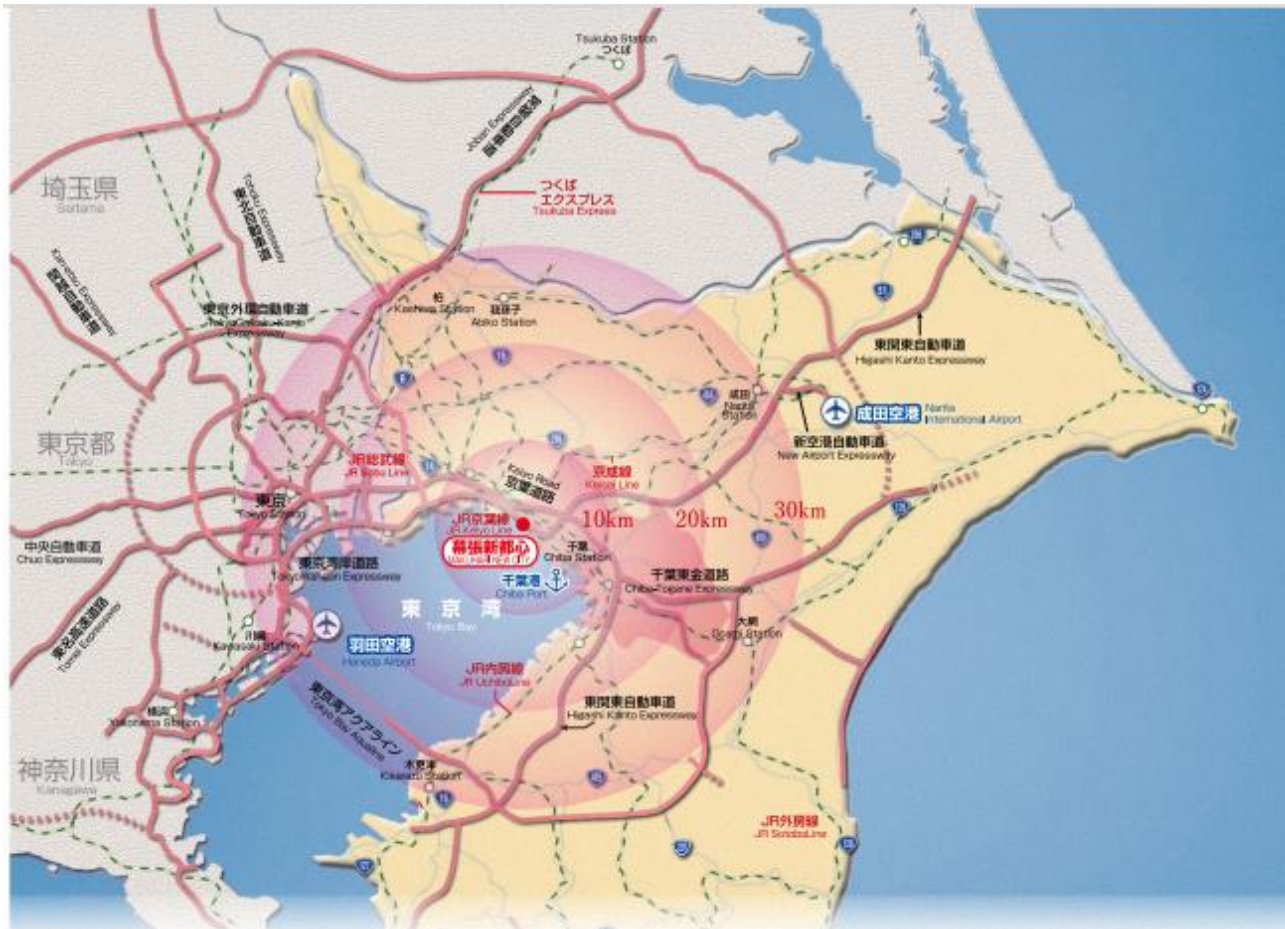
幕張新都心のこれまでのあゆみ

- 特に、**幕張新都心はこれまでも先進的・国際的な取組に数多くチャレンジしてきました。**
- 特徴的な施設の整備に始まり、現在は新しい技術の実装に向けた取り組みも進んでいます。



幕張新都心の位置付けとは？

- これまでの幕張新都心の歴史・歩みを踏まえると、今後は「**千葉市の幕張新都心**」としてだけでなく、「**千葉県・首都圏の拠点**」として成長させていく必要があります。



幕張新都心の位置付けとは？

章	項目	概要
1.	幕張新都心が目指したもの	幕張新都心に関する各種計画から、これまでの幕張新都心が目指したものについて整理
2.	幕張新都心のあゆみ	幕張新都心で積み重ねられてきた様々な取組の歴史を整理
3.	現状分析	これまでの取組を踏まえた幕張新都心の現状を整理
4.	考慮すべき将来の変化	文献調査をもとに、幕張新都心を取り巻く中長期的な外部環境変化を整理
5.	幕張新都心への思い・声	関係者・有識者ヒアリング・懇話会・住民企業WSを通し、幕張新都心への市民の思い、有識者の見解を整理



上記1~5.を受けて「幕張新都心が目指すべき姿」を検討

6.	幕張新都心が目指すべき姿	1~5を受けて、幕張新都心のあゆみや現状分析、将来の変化等を踏まえ、幕張新都心が目指すべき姿について整理
7.	目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性	目指すべき姿を実現するにあたり、取りうるまちづくりの方向性について例示

5. 幕張新都心への想い・声

経済・産業に関する内容

関係者・市民の想い

- ・ 先進的な取組・新たな取組を進めることで、まちの価値を高め先導する地域となるべき
- ・ 新たなビジネスの創出のために内外との接点・交流を創出すべき

先進的な取組への挑戦が幕張のイメージとして良い
「幕張は新しいことやってる」と感じてもらえるようにしてほしい

後追いではなく、グローバルに先導する地域になってほしい

皆がどのような仕事をしているのか知れる・相談できる関係性・異業種同士が混ざり会えるような場に期待
中小・ベンチャー企業が持つ種を拾い上げて可視化していく取組もあれば良い

幕張メッセは空間を提供する。様々な時代のニーズ・要請にも対応可能

有識者の視点

- ・ デジタル技術・新技術に配慮したまちづくりや、イノベーション・実証実験拠点形成を目指すべき
- ・ 文化が経済にとっても重要であり、より表現・発信できる場を創出すべき

ソーシャル・イノベーション拠点として幕張新都心を伸ばしていくと良い

デジタルに関するシステムを行政・民間・住民と一緒に導入していくことで、仮想実験・実証実験の場になる

自由に使える余白を都市のなかに用意し、若い人が入り込む、新しい事業を行うなど、チャレンジできる場所が解放できる仕掛けがあると良い

今は受け皿ではなく、発信ができる街である必要
都市にアートや文化があり、そこに足を運びたいような仕掛けやアーティストや研究者、デザイナー等がまちづくりに登用されるような枠組があると良い

5. 幕張新都心への想い・声

社会・環境、生活・ライフスタイルに関する内容

関係者・市民の想い

- ・ 住む人を置き去りにせず、多様な人に寄り添い、新たなライフスタイルに合わせた街となるべき
- ・ 教育・学びの機会の創出は重要で、それらを起点とした国際交流も含めた人・エリア同士の交流の創出が重要

住民・企業参加型のマクハリアカデミーを開講してはどうか自由に誰もが参加でき、教師も住民で担うようなリカレント教育という切り口でより多様な方に参加してもらう方法もあるのではないか

多様性を許容できる社会であるべきだ
住む人を置き去りにしないビジョンにしてほしい
身近な声に寄り添っているまちが良い

特定の目的・施設だけでなく、「まちに来る」ことが目的になってほしい

コロナ禍のリモート環境下で、幕張新都心の魅力が高まりを見せている点を活かすべき

有識者の視点

- ・ 学びの場・生涯学習の場をより提供していくべき
- ・ 一人ひとりの住民の想いに寄り添いつつ、既存空間の有効活用によって、多様性を創発できるような仕掛けやコミュニティづくりを進めるべき

市民が消費者のみにならず、（自然等の）作り手に回れる仕組み作りを行うことで自分事化して考えられるストーリーができる

よく見ると一人ひとりの暮らしや考えもあるはずなので、個の魅力が高められるような形にしたい

歩車分離で歩道が広く整理されており、空間的な余白が多いので、様々なことができる

生涯学習の場を作り様々な世代や地域の方が参加できると良い

ゾーンの中に飛び地をつくるなど、行政がプラットフォームになり仕掛けを構築してほしい

5. 幕張新都心への思い・声

都市のマネジメント、安全・安心に関する内容

関係者・市民の思い

- ・ **インフラの老朽化**は幕張新都心にとっても課題
- ・ **情報発信・イベント**などにより、幕張新都心の**ブランディング**を進めていくべき
- ・ **まち全体で連携・交流の体制**を築きながら、住民・行政・地元企業など一体となってまちづくりを進めていくべき

防災上の注意喚起をする学びの場が必要。気づいたら学んでいる仕掛けを家庭やコミュニティ内でできればよい

何でも規制をするとやる気を削いでしまう

柔軟に・今あるものを上手く使う工夫も重要

メディアで取り上げられるようなイベントによってまちのイメージが上がっていくのでは

同じ思いで皆が動くには、誰が幕張新都心のまちづくりを引っ張っていくかが重要

役割の似ている会議体が複数あるが、街全体の会議ができる組織があると良いのではないか

有識者の視点

- ・ **柔軟に管理・更新**のできる都市づくりが必要
- ・ 地元住民・企業など**多様なプレーヤー**が参加でき、まちづくりを進められる仕組みを整えるべき
- ・ 情報発信や**市民の誇り**を高める活動をより進めるべき

全てを一気に変えるのではなく、**全体像を踏まえながらバージョン管理**をしていくことが重要であり、柔軟な都市づくりが必要である

幕張新都心がやっていることを**どんどん発信する基盤を整えるのがよい**
関わる市民の誇りが高まるような活動を作り出すことが重要だ

市民が**直接物事を決められる仕組み**があり、皆で予算の使いみちも決められる仕組みがあると面白い

デジタルでのアクセスも一つの住民参加として捉えるべき時代だ

6. 目指すべき姿

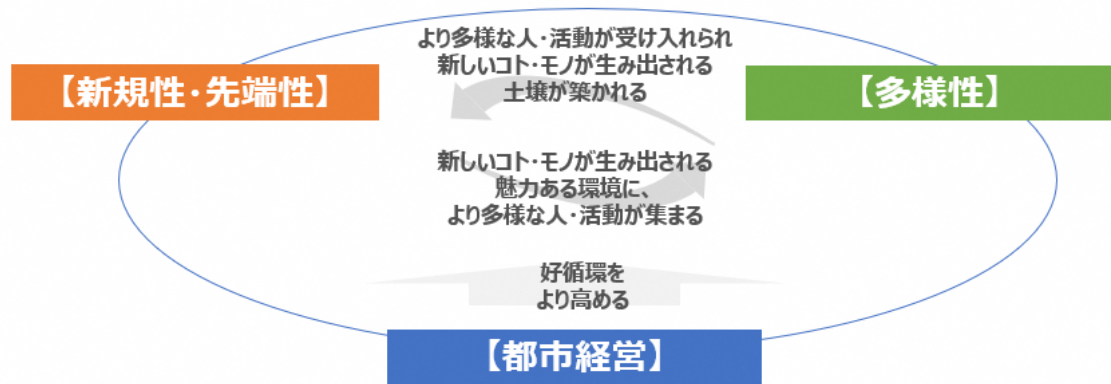
「まちづくりの理念」

幕張新都心の歴史と発展の経緯を踏まえつつ、発展していくまちであり続けるため、このまちで活動する上で大切にすべき考え方を「まちづくりの理念」として示す

◆ 人と街が未来を追い求めてチャレンジを繰り返し、ここにしかない新しさが生まれるまち

「幕張新都心のありたい姿」

まちづくりの理念の実現に向け、重要となる3つの要素を「新規性・先端性」「多様性」「都市経営」とし、3要素が好循環する姿を幕張新都心のありたい姿として目指す



「まちづくりの方向性」

- ありたい姿へ向かうために取り組むべき7つの方向性を示す
- 方向性ごとに「取組みの方針」を示すとともに、具体的な「取組みイメージ」を例示する
- 各主体が積極的に取り組むとともに、連携・協働により具体的な取組みの検討を進める

7. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性

- 幕張新都心の持つ機能「職・住・学・遊」をさらに伸ばし、ありたい姿へ向かうために取り組むべき7つの方向性を示す
- 方向性ごとに「取組みの方針」を示すとともに、「取組みイメージ」を例示することにより、多様な関係者とみんなでまちづくりの方向性を共有する
- まちづくりの方向性を踏まえて多様な関係者が連携しつつ、それぞれが積極的な取組みを実施していく

■これまで幕張新都心らしさを構成してきた「職・住・学・遊」に関する4つのまちづくりの方向性

【1. 主に「職」に関すること】

まち一体となって
新たなコト・モノを生み出し続ける
環境を作り産業活動の拠点
として成長する

【2. 主に「住」に関すること】

ライフスタイルの多様化にも
対応した誰もが
憧れる住環境を築く

【3. 主に「学」に関すること】

多様な活動主体が
刺激的で先端的な
学びを得られる
環境を創出する

【4. 主に「遊」に関すること】

魅力的な資源を
更に活用し
まち全体の楽しさを高める



■これからの幕張新都心らしさをより高める「連携」のための3つのまちづくりの方向性

【5. 柔軟な活用・回遊性に関すること】

既存資源を柔軟に活かし
繋げることで
各エリアの融合を促進し
一体感を醸成する

【6. 市民参加に関すること】

住民・企業など
多様な主体が手を取り
幕張新都心に誇りを持つための
取組づくり

【7. 基盤・持続可能性に関すること】

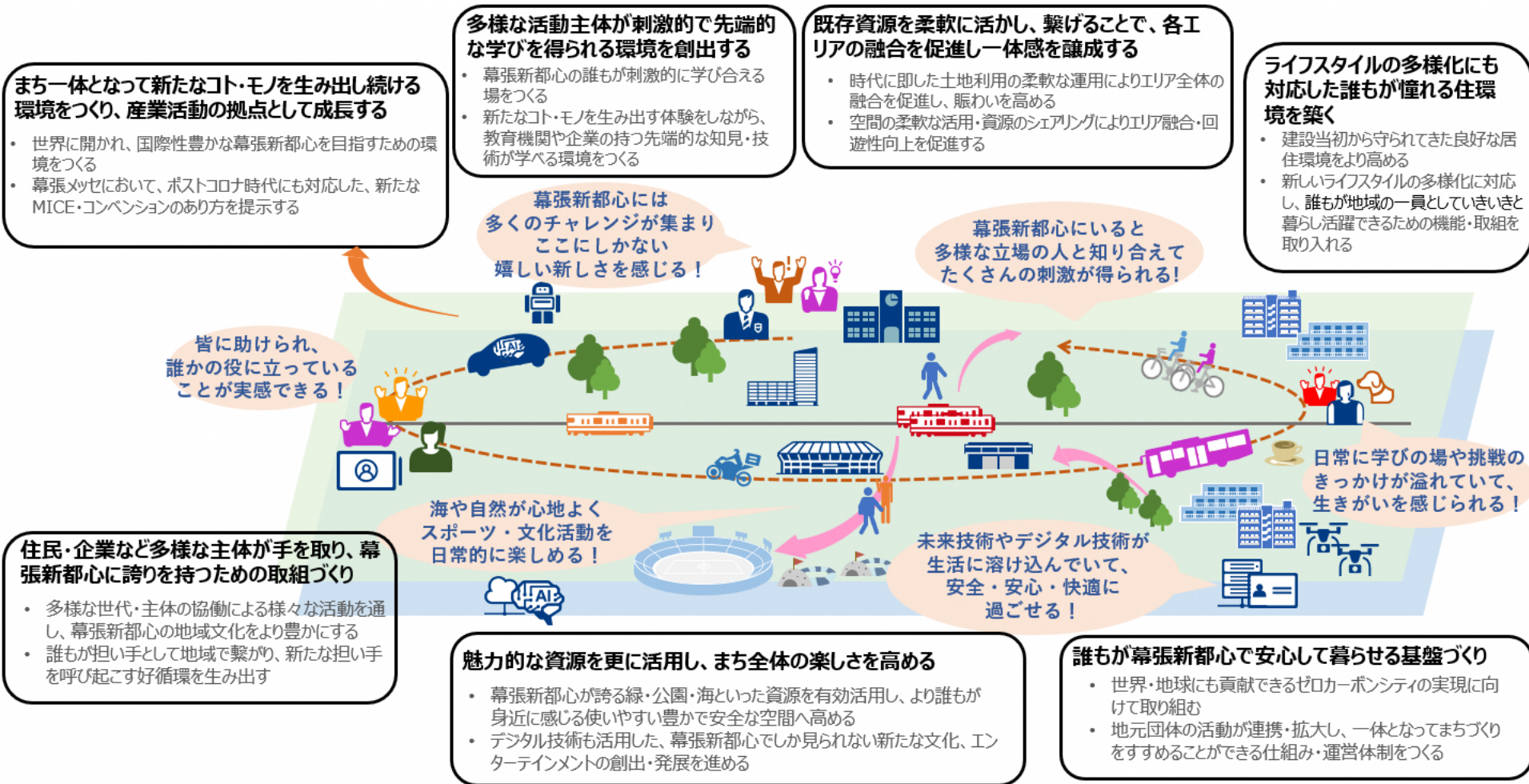
誰もが幕張新都心で
安心して暮らせる基盤づくり

【新規性・先端性】

【多様性】

【都市経営】

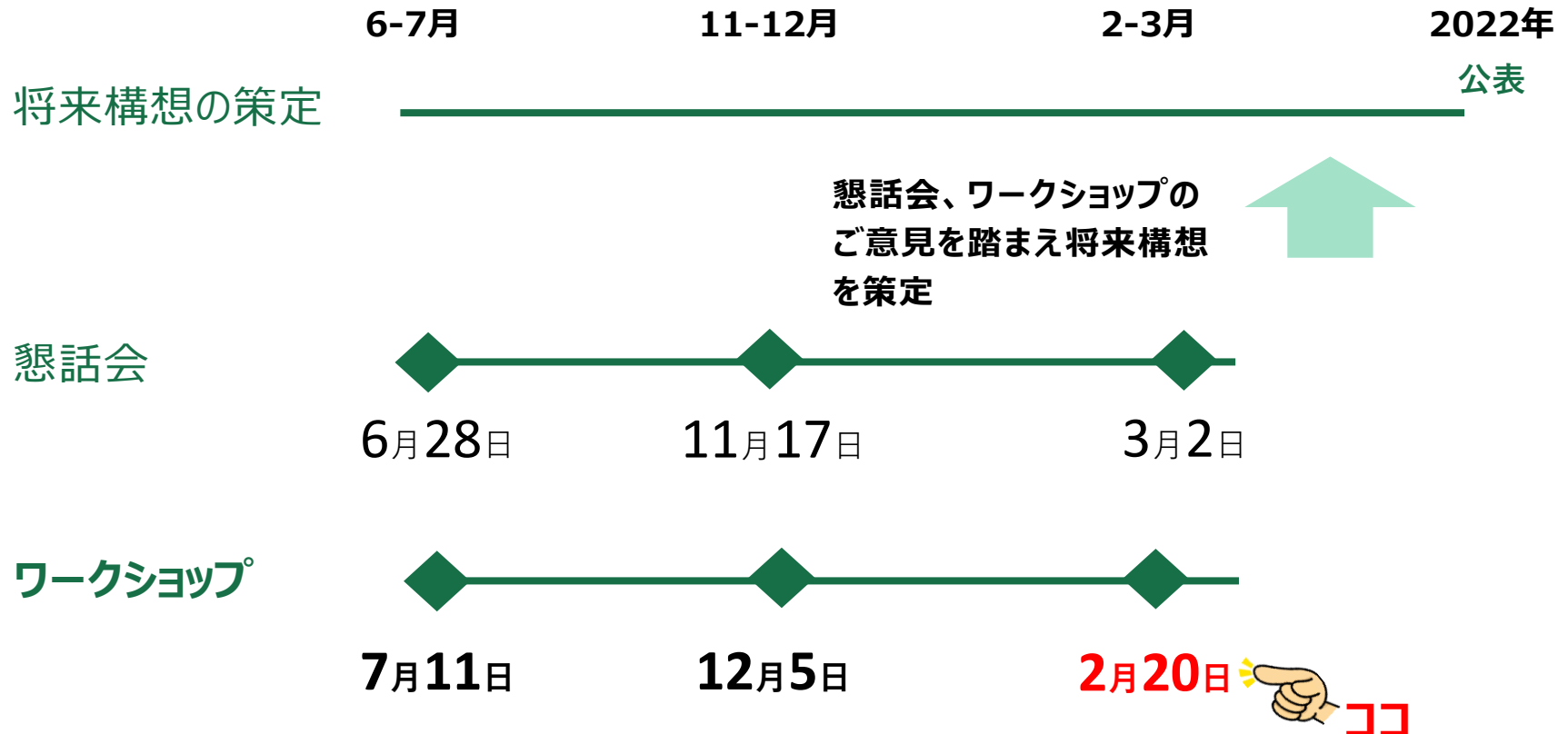
7. 目指すべき姿へ向かうために：まちづくりの方向性



本ワークショップの実施背景

策定のスケジュール

- 将来構想の検討にあたっては、有識者や地元関係者のご意見を伺う「懇話会」と、地元の住民の皆様、学生やワーカーの皆様などのご意見を伺う「ワークショップ」を開催します。
- 今回は、ワークショップの3回目となります。

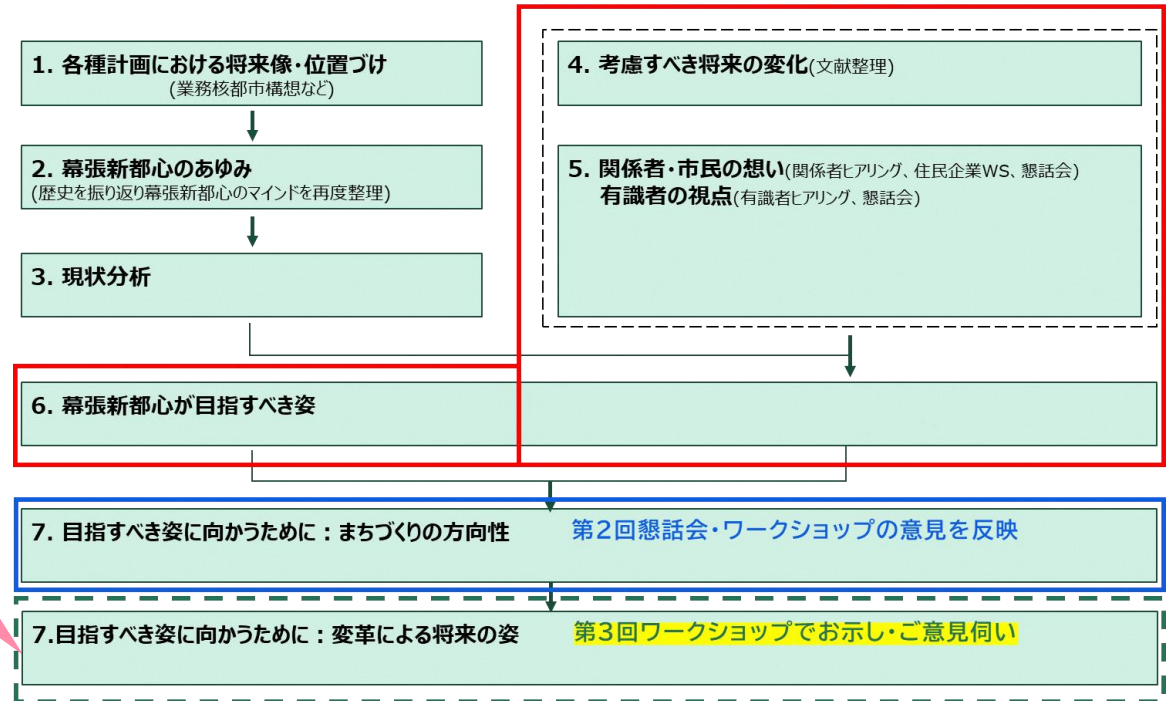


今回のワークショップでは…

- 幕張新都心将来構想は、以下のような構成で検討を進めています。
 - 今回のワークショップの議論内容を将来構想に反映するとともに、今後の取組みの参考といたします。
- ぜひ一緒に、幕張新都心の将来をつくっていきましょう！**

幕張新都心将来構想の構成(現時点版) ※構成は変わる可能性があります

第1回懇話会・ワークショップの意見を反映



本日の議論では、
将来の「よりよい」幕張新都心に
近づけるために、**ご自身がどのような
取組をしていきたいか**を伺います。
⇒「**7. 幕張新都心のまちづくりの方向性**」や今後の取組みの参考とさせていただきます。

前回のワークショップの振り返り

前回のワークショップの振り返り

- 7/11に1回目のワークショップを行い、幕張新都心で生活するなかで感じる魅力・課題、幕張新都心のありたい姿に関して議論していただきました。
- 12/5の2回目のワークショップでは、幕張新都心の“のびしろ”として、以下のご意見をいただきました。

新規性・先端性に関すること

住む

- ベイタウンは30年経ってほころびも見られてきている（石畳の修繕など）。維持管理の水準も要検討である。

働く

- テクノガーデンをリノベーションし、ベンチャーや学生が集まれるような、コミュニティサロン、情報発信基地をつくったらよい。
- 県内の製造業と連携してはどうか。素材系の企業は社会実証の場を欲している。

遊ぶ・癒やす

- メッセから海や球場に行くときの歩道橋は、もっとわくわく感が欲しい。
- 海辺と都会の両立は特有なので、海辺のまちづくりをしてはどうか。

交流する（賑わい）

- 幕張の中心部に人や建物が集中している印象であり、外に魅力的なコンテンツがあるとよい。
- 幕張にエンタメ性のある映画祭はあまりないため、幕張で映画祭を実施してはどうか。
- マルシェや3 on 3 など、吸引力・目玉になるイベントの定期的な開催が必要ではないか。

学ぶ

- 駅前の高層ビルの一角に、企業と交流・インターンシップができる場、学生寮のようなものを企業との接点としてつくってはどうか。

移動する

- 国家戦略特区でのモビリティに取り組んでいるが、イオンモール前の新駅とどう連携していくか。
- 高齢者の安全な移動のため、オンデマンド型電動自動運転を導入してはどうか。
- 徒歩、エリア内、エリア外の3段階の移動手段を整備するとよい。

交流や議論の場づくり

- 日々幕張海浜公園や海辺などでイベントが起こり、知らないうちに初対面の人と相席しているといった場の仕掛けが必要である。
- まちの問題解決に向けて市民が集まって動く必要があるため、産学官民連携をオンラインを駆使して行ってはどうか。

ブランディング

- 幕張は景色が良く、テレビでよく出てくるため、そうした強みをPRしてはどうか。市民が使えるスタジオを作って世界に配信するのも一案である。
- 国際的に見ても、ベイタウンはかなり広い居住空間であり、自慢してよい。

前回のワークショップの振り返り

- 7/11に1回目のワークショップを行い、幕張新都心で生活するなかで感じる魅力・課題、幕張新都心のありたい姿に関して議論していただきました。
- 12/5の2回目のワークショップでは、幕張新都心の“のびしろ”として、以下のご意見をいただきました。

多様性に関すること

住む

- 家族連ればかりでなく、単身者・若者も住まうことができる場所にしてはどうか。飲食店も家族向けだけでなく多様な店ができるようになる。

買う（買い物）

- 人が集まる場をつくるのが根本的な価値提供であるので、新駅前のイオンモールに、買い物ブラス、何かの機能を付加していければよい。

交流する（賑わい）

- 住民同士でリアルタイムに情報が分かる仕組みを構築するよい。人との出会いに繋がりそう。
- 学校、居住、就業とエリアが分かれているので、見えている姿が違うかも。エリアをつなぐコミュニケーションツールがあればよい。

学ぶ

- 住民・企業参加型のマクハリアカデミーを開講してはどうか。自由に誰もが参加でき、教師も住民で担う。
- 住民が互いに教師・生徒になる全世代型アカデミーを、建物内の座学ではなく海辺で開放的に実施してはどうか。

交流や議論の場づくり

- 若者も参画した、全世代参加型のコミュニティの構築が必要である。市民がどう思っているかを企業や役所に把握してもらいたい。

移動する

- 神田外語学生は、新都心に行くことはあまりないので、海の方まで移動できる動線（自転車道など）があるとよい。
- シェアサイクル、キックスクーターなど最新モビリティがあるとよい。池バスは乗るだけで楽しく、自然と向いに座っている人と会話が生まれる。

※池バス：池袋の街を走る電気バス。電動リフトを装備しており車いす利用者も乗車できる。

前回のワークショップの振り返り

- 7/11に1回目のワークショップを行い、幕張新都心で生活するなかで感じる魅力・課題、幕張新都心のありたい姿に関して議論していただきました。
- 12/5の2回目のワークショップでは、幕張新都心の“のびしろ”として、以下のご意見をいただきました。

都市経営に関すること

安心して過ごせるまちづくり

- 防災上の注意喚起をする学びの場が必要。気づいたら学んでいる仕掛けを家庭やコミュニティ内でできればよい。
- 自治会連絡網、コミュニティFMなども有効ではないか。

様々な地元関係者が連携できるための場づくり

- 新しい分野に取り組むにも、若い力、企業・スタートアップ、学生などをつなげ、力を合わせる仕組みがあるとよい。
- 京葉コンビナート、蘇我の製鉄所、発電所などの遊休地を有効利用してベンチャーや研究機関と連携できると、次世代の千葉の産業を発展させるような基地になっていくのではないか。
- 行政・民間企業・住民・学生それぞれの意見を聞ける団体、場があるとよい。

幕張の各スポットを連続して訪れたいまちづくり (まちへのアクセス改善)

- コミュニケーションツールとモビリティが連携できるとよい。年配の方にとってイオンが集まる場になり、無料バスを年配の方に使ってもらうなど、移動手段を通じてまちの情報、交流の機会になるとよい。

今後のまちのインフラ活用のあり方

- 今後想定される建物の建て替えをきっかけに、あえて機能を混ぜると楽しいのではないかと思う。

ブランディング

- 幕張は景色がよく、撮影許可が得やすい。音楽・アート・作家・映画といったイベントを実施してはどうか。
- 対外的に発信するアンバサダーを招致し、幕張の魅力を発信できるとよい。ホテルを利用した方が発信するといった手段も考えられる。

本ワークショップの進め方

本ワークショップの進め方：メンバーについてのお願い

メンバーには幕張新都心にお住まいの方も、そうでない方もいます。

- 幕張新都心をよく知る方も、そうでない方も、
ぜひお気軽に参加してください。

本ワークショップの進め方：メンバーについてのお願い

オブザーバーとして千葉市も皆さんのお話を伺います。

- 特に議論には参加せず、
皆様の貴重なご意見を伺わせていただきます。
- 補足の説明が必要になったときだけ、
お話をさせて頂くかもしれません。

本ワークショップの進め方：議論についてのお願い

ぜひ積極的に参加しましょう。

- 賢い発言、気の利いた発言をしようとして構えず、
思いついたことをそのまま素直に発言しましょう。

本ワークショップの進め方：議論についてのお願い

メンバーの意見をよく聴きましょう。

- （画面の向こう側ですが…）他のメンバーは、
自分では想像もつかない意見を言ってくれる貴重な存在です。
自分とは違う意見でも、とにかく聴きましょう。

本ワークショップの進め方：議論についてのお願い

質問したいとき、分からないときはどんどん聞きましょう。

- 他のメンバーが話してくれたところで質問したいことがある、分からないことがある、そんなときは、素直に質問してください。ひよんなことから、新しい答えが出てくるかもしれません。
- チャット機能を使って質問してみるのもOKです。

本ワークショップの進め方：議論についてのお願い

そして、楽しみましょう！

- 未来の幕張新都心を想像しながら、楽しく考えましょう。

本ワークショップの進め方：その他のお願い

- ワークショップでの議論は、記録のため、録画・録音します。
また、委託元である千葉市に共有いたします。ただし、これ以外の用途には使用いたしません。
- 参加者の皆さんがワークショップを録音・録画すること、
Zoomの画像をSNS上などで発信することはお控えください。
- ハウリングを防止するため、「マイク付きイヤホン・ヘッドホンの着用」をオススメします。
また、ご自身の発言時以外はミュートにさせていただきますようお願いいたします。
- リアルに近い形で意見交換をするため、極力カメラをオンにして頂ければ、幸いです。
- お菓子や飲み物などを片手にした参加、歓迎です。
- 運営を妨げる行為、不適當・不適切な行為などがあった場合には、
強制退出させていただきます。

グループ議論

ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、各グループへ分かれます。

(自動で設定して皆様を振り分けますので、ルームに入室してください)

各グループには、ワーカーの方・住民の方、両方いらっしゃいます。

グループ議論へ！

自己紹介

みなさん本日はよろしくお願ひします！

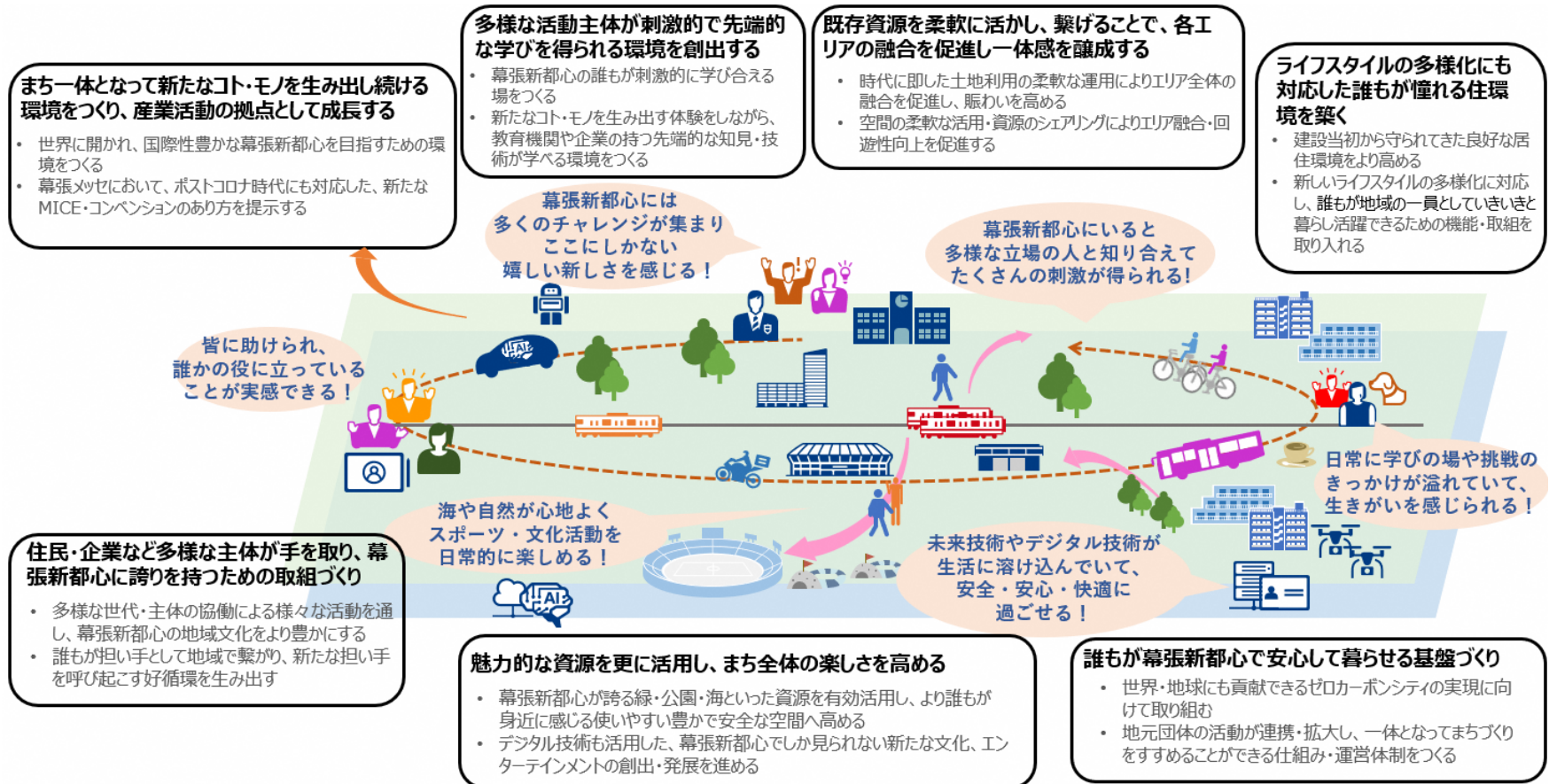
- 氏名（この場限りの呼び名をお願ひします）
- お住まい
- （差し支えない範囲で…） 職業
- （差し支えない範囲で…） 家族構成
- 幕張新都心で参加したことのあるおすすめイベント（印象に残ったイベント、これから参加してみたいイベントなど）
- このワークショップでの関心（参加理由）

議論：

「よりよい幕張新都心」をつくっていくために、あなたができること

- これまでいただいたご意見を参考に、将来の幕張新都心の姿を以下に描いてみました。
- みなさんが考える「幕張新都心でのよりよい生活」を実現するために、

あなた自身はどういうことからできそうですか？



議論：

「よりよい幕張新都心」をつかっていくために、あなたができること

- みなさんが考える「幕張新都心でのよりよい生活」は何ですか？ どんな機会・場面があったらよいでしょうか？ 前のスライドの絵も参考にして考えてみましょう。
- 「幕張新都心でのよりよい生活」を実現するために、**あなた自身はどういうことからできそうですか？**
- すでに幕張で取り組んでいる活動（自治会、応援団、パパ・ママ友の会、スポーツクラブetc.）はありますか？ やってみたい／おもしろそうなことはありますか？
- 実際にやっていくうえで、誰とやりたいですか？ どんなものが必要ですか？

実現したい 幕張での生活	テーマ：「よりよい幕張新都心」をつかっていくために、あなたができること			
	住民		働く人	
	●●さん	■■さん	▲▲さん	××さん
（例）学びの場や挑戦のきっかけがあり、生きがいを感じられる	<ul style="list-style-type: none"> （例）立場に関係なく互いに学び合う・教え合う 	<p>※ここで記載しているのはあくまでも例です。</p>		
（例）多様な人が集まって新しく尖った取組をする雰囲気がある			<ul style="list-style-type: none"> （例）交流の場に顔を出してみても、他の企業の人と積極的に関わってみる 	
...				

各グループでの議論結果の共有

- それぞれのグループでどのような議論がなされたか、
グループのファシリテーターが共有します。
- グループやメンバーが違えば出てくるアイデアも変わってくるため、
同じ点・異なる点などをぜひ聞いてみてください。
- 気になることがあれば質問しても構いません。

次年度事業について（千葉市より）

幕張新都心まちづくり 機運醸成事業について

未来へ繋げる映像イベントへのご協力のお
願い



当事業の概要

- 幕張新都心まちづくり将来構想の策定にあわせて、まちの一体感やまちづくりの参加への機運を醸成する事業に取り組みます。
- この事業では、まちの皆さんにスポットライトを当て、幕張新都心の過去（歴史）、今（現在）、未来をテーマとした映像を作ります。
- この映像を、より多くの方が幕張新都心の「まちの人を知る」「まちの魅力を知る」「まちのこれからを知る」ツールとして発信していきます。
- この事業を通じて、まちの目指す姿を共有し、まちの皆さんが幕張新都心のまちづくりに協力しながら、関わっていくきっかけにします。

映像「過去（歴史）編」を制作

- 誰がどんな思いでこのまちを計画・設計し、何を目指したのか、ご本人の映像や資料映像を使って、『プロジェクトX』風の映像を作ります。
- このまちに関わる人に、まちの歴史を正しく理解してもらうことで、今後のまちの姿をより良く創造してもらうことを期待しています。
- まちの名所の誕生秘話など、このまちを語るときの素材として、レガシーとなるような映像を作ります。

映像『現状編』を制作

- このまちの計画・設計、理想がどのように実現したのかという視点から、今（現在）の幕張新都心の姿を映像化します。
- その中で、今（現在）行われているまちのイベントや活動を積極的に取材します。
- こうしたイベントや活動を1つの映像におさめることで、まち全体に認知され、広まっていくことを後押しします。

映像『未来』編を制作

- 過去（歴史）、今（現在）の映像や、将来構想が示すまちの目指すべき方向性を共有し、まちの皆さんが「自分ゴト」として、幕張新都心の未来を考える機会を作ります。
- こうした機会の一つとして、作成した映像を踏まえ、有識者やまちの皆さんを招き、幕張新都心について考えるシンポジウムを開催します。
- これらを映像化し、幕張新都心の未来に向けた取り組みとして記録します。

お願い

- この『マクハリ ミライトーク』は、幕張新都心に熱い思いを持つ皆さんによる、大切な取り組みの1つです。
- 来年度以降も、このまちをより良くするため、当事業において、皆さんと協力した取り組みをしていきたいと考えております。
- 当事業の映像に出演されたい方、大歓迎です。ぜひ皆さまの思いを語ってください。
- 『マクハリ ミライトーク』に引き続き、当事業について、アドバイス等いただける関係が構築できれば幸甚です。

閉会挨拶（千葉市より）

本日は、ご参加いただきありがとうございました！

**本ワークショップのアンケートに
ご回答いただきますよう お願いいたします。**

アンケートフォーム（下記のURLまたは右のQRコードより）

https://www.mri.co.jp/makuhari_workshop03_questionnaire/

